

一般質問

3月18日(月)・19日(火)の2日間にわたり、17人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）

高齢者の居場所



渡辺 恒
(日本共産党議員団)

質問

高齢者の生きがい創出のため各自治会でサロンを開くなど様々な努力がなされている。高齢者が気軽に集まれるよう空き家を活用したサロンを整備することについて当局の見解は。

答弁

高齢者などが気軽に集まれる場所については、現在各地域の集会所などを拠点に70を超えるシルバーサロン



サロンの様子

が地域住民を主体に定期的に開催されており、各地域の高齢者が気軽に集い、交流する場となっている。その他にも、民間の事業者や団体などが、民間の施設等を活用して地域住民に開かれた集いの場を提供する取り組みや介護予防サポーター等が主体となり、長寿センター等の施設に集まって、当市オリジナルの介護予防体操「元氣おりおり体操」を実践する活動なども展開され、それぞれ定着しつつある。また、各地域の老人クラブの活動も、高齢者の交流を通じて生きがいづくりや社会参加を促進する貴重な機会となっている。市としては、高齢者の生きがいづくり、社会参加及び介護予防の促進などの観点から、今後も引き続き、地域住民や関係機関・団体と協力し、空き家を活用することについても地域の声を聞きながら、高齢者などが気軽に参加できる集いの場の充実を図れるよう努めてまいりたい。

学校等の指定避難所の開設



田島 忠一
(そうぞう未来)

質問

避難所開設に当たり、人員確保はどのように行っているか。

答弁

学校等の指定避難所の開設については、各施設3名の市職員を緊急災害時避難所直行職員として任命しており、その職員は、市役所庁舎等に保管してある指定避難所の鍵や避難所運営マニュアルを携行し、直ちに避難所開設の体制を整えている。また、避難所開設後の運営については、自治会や町内会などの地域の役員、自主防災組織などが中心となり、市の職員と連携して運営することとなっている。

質問

避難所に該当する体育館や外トイレの洋式化の考えは。

答弁

災害時のトイレについては、全国の災害事例でも



学校の外トイレ

様々な要因によってトイレが使用できない状況が発生するなど、その対策について研究すべき課題であると認識している。災害時に学校の体育館に避難されている和式トイレの利用が困難な人等については、現状では校舎内の洋式トイレや洋式型の簡易トイレ、また仮設の洋式トイレ等を利用していたく想定となっている。避難所における排泄や衛生の諸課題については、避難者の安全、安心のために重要であると考えており、今後も施設の管理者である関係各課と連携、協力しながら、様々な角度から研究してまいりたい。



人 見 武 男
(創志会)

亀山市長3期12年の足跡

質問 12年を振り返って誇れる事業とその成果・効果について。

答弁 人口減少対策を平成25年度に桐生市新生総合計画後期基本計画における最重要課題として位置

付け、専門部署である人口対策室を設置し、平成26年度からは、住宅、雇用、子育て、教育などの分野における様々な施策を複合的に結び付けながら推進してきた。

その中でも、市長就任当初から「子育て日本一」を目指すことを目標としており、将来の当市を



キノピーランド

担う人材を育成するため、若い世代が安心して子供を産み、育てることができるよう、一貫して子育て施策の充実に力を注いできた。主な実績や成果については、子育て支援の分野において、母乳外来助成や産婦健康診査など他市に先駆けて実施し、また、子どもの遊び場や保護者同士の交流、子育てに関する相談ができる屋内遊戯場「キノピーランド」の設置や、放課後児童クラブの設置運営マニユアルの統一など市民の要望を叶えることができた。教育分野では、小中学校の耐震化や普通教室へのエアコン設置など、教育環境の充実を図るとともに、「サイエンスドクター事業」や「未来創生塾」など、桐生ならではの特色ある教育プログラムを確立することができた。



河原井 始
(クラブ21)

桐生市行政評価条例

質問 本条例に記載されている「行政評価」と「事業仕分け」の関係性及び根拠は。

答弁 本条例第3条及び第4条に基づき、平成22年度及び平成23年度に事業仕分けを実施しており、本条を根拠としている。

質問 評価の判定基準が変更されているのか。

答弁 根本的なものは変わっていないと考えており評価の判定が分かりやすく、活用しやすいものにするため改良したものと承知している。

質問 事務事業総合評価で、廃止になった事業及び外部評価委員の評価が生かされた事業は。

答弁 廃止とした事業は、50事業で、

業は、50事業で、

平成24年度から3年間で最終評価として生かされた事業は68事業である。

質問 見直しすべき事業は、どのようなものがあり、その効果は。

答弁 主なものは、新里町、黒保根町の路線バスを廃止し、新里町で、約700万円、黒保根町で、約2000万円の削減効果があった。

質問 これまでに実施してきた「事業仕分け」の市長の見解は。

答弁 評価結果を予算や事業の見直しに効果的に反映させることができたと考えている。



行政評価イメージ図



飯 島 英 規
(無会派)

入札制度

質問 公正に入札制度を運用するために、事前に、仕様書の決定に至る議事録や関連資料が漏れてはならないのは当たり前の事柄である。当市は業者と様々な契約を行っているが、発注した工事、業務委託及び役務で、「業者が知り得た秘密、情報、資料等を外部に漏らしてはならない」など契約書等で指導を行っているか、情報管理一般論として伺う。

答弁 個別契約書の契約約款に「受注者は、この契約の履行に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。」と示してある。

質問 仮に市が発注した工事、業務委託及び役務で業者が知り得た秘密、情報及び資料が様々な理由で外部に流出し、その結果、市及び市民に損害が発生した場合、どのように対応・措置をするのか。

答弁 仮に市や市民に損害が発生した場合、命令や警察の捜査結果に基づき「桐生市請負業者等指名停止措置要綱」により指名停止を行う。また、契約約款では、談合等不正行為があった場合の違約金等として、受注者が請負代金の10分の2に相当する額を違約金として支払うこととされているので、それらに従って措置を講じる。

結果、市及び市民に損害が発生した場合、どのように対応・措置をするのか。



桐生市役所



北川 久人
(創志会)

桐生八木節まつり による観光推進

質問

「桐生八木節まつり in 浅草」の開催及び「ふるさと祭り東京」に出演することになった経緯は。

答弁

「桐生八木節まつり in 浅草」は、開催場所の浅草六区ブルードウエイ商店街で、道路空間を活用したオーブンカフェや集客イベントを開催して地域活性化を図るための社会実験を行っているため、集客力のあ



ふるさと祭り東京

り、群馬県で初めて選ばれたことは、桐生八木節まつりを全国的なまつりにしていこうと、近年、取り組んできた成果であると考えている。今後、このようなイベントに招待され、全国に向けて桐生八木節をはじめ、桐生市の魅力を発信できるように活動してまいりたい。



岡部 純朗
(そうぞう未来)

認知症の現況確認

質問

認知症高齢者の現況確認は、どのように把握しているのか。

答弁

主に地域包括支援センターの総合相談を通じて個々に把握している。

認知症予防対策

質問

認知症予防対策は、どのようなことをしているのか。

答弁

認知機能低下予防を目的とした脳いきいき教室を市内9か所で今年度は実施しており、7日間のコースの中で、認知症予防につながる運動などを盛り込んだプログラムを提供している。平成30年度については、合計で234人が教室に参加し、そのうち2つの教室については、終了後に参加者が自主



元気おりおり体操をしている様子



山之内 肇
(公明クラブ)

災害対策用備蓄の充実化

質問

自然災害などによるライフラインの停止時においても、赤ちゃんが安全かつ安心して栄養摂取できる環境を整えるため、乳児用液体ミルクを災害対策用備蓄品に加えるべきと考えるが見解は。

答弁

乳児用液体ミルクの有効性については認識しており、備蓄については、国内メーカーによる製造販売が開始されたばかりであるため、使用方法や保存方法、保管場所など様々な角度から研究が必要と考える。平成31年度から、災害時の備蓄用として、液体ミルクを配備する自治体もあることから、先進自治体や県内の自治体の備蓄方法等を参考にしながら、研究を進めたいと考えている。



災害対策用備蓄品

危険なブロック塀等への対策

質問

通学路の安全対策などの観点を含め、個人が所有する危険なブロック塀等の除却・改修工事を促す補助制度を、1日も早く創設するべきと考えるが見解は。

答弁

補助制度の創設については、現在、検討を進めている。

その他の質問項目

◆子ども、妊婦、中学3年生、高校3年生相当年齢などのインフルエンザ予防接種に対する費用助成制度の創設
◆子どもたちの安全な環境づくり(防火シャッターの安全対策)



園田 基博
(創志会)

医師適正配置方針

質問

急性疾患や急性期患者が市内から流出していると報道されたが、ぐんま地域医療会議における桐生厚生総合病院の医師適正配置について伺いたい。

答弁

ぐんま地域医療会議は、県全体で医師の適正配置等に向けた方針を協議する場が必要とされ、県内の医療関係団体が参加し、平成30年3月に設置された。

この度、会議の議題として、桐生厚生総合病院の医師不足が取り上げられ、その適正配置方針の中で、桐生保健医療圏域への外科医師配置が喫緊の課題であることが示された。これを受け群馬大学附属病院が外科医3名を桐生厚生総合病院へ派遣を決定したものと認識している。



桐生厚生総合病院

質問

リクルート会社登録による状況は。

答弁

医師紹介業者4社に登録しており、医師募集について、40件を超える問い合わせがあり、その中で、2月から内科の非常勤当直医1名を採用したと聞いている。また、常勤医師として問い合わせをいただいた3名は、転院後の生活設計を見据えての検討ということで、現在も回答待ちと聞いている。

○その他の質問項目

◆ソサエティー5・0

◆ユーユー広場トイレ



新井 達夫
(そうぞう未来)

道の駅くるほね「やまびこ」

質問

道の駅くるほね「やまびこ」は年間を通して多くの利用客が訪れる。特に観光シーズンには大型観光バスなども多く、時には駐車場に停めきれず、国道122号が渋滞したり、トイレが混雑している光景を目にする。平成31年度に20台分ほどの駐車場の整備計画があるというところだが、整備内容、工事の着工及び完成時期はいつになるのか。

答弁

本事業は整地後に敷砂利をするもので、整備面積は643・3㎡である。国の交付金事業を活用するので、



道の駅くるほね「やまびこ」

質問

駐車場が整備されれば来客者が増え、トイレの混雑も予想されるが、今後、整備する考えはあるのか。

答弁

道の駅としてはトイレの数が少なく、来場者が多い時には非常に混雑している。施設も築20年以上経過し、老朽化が進んでいる状況にある。道の駅は、黒保根地区の観光拠点となる重要な施設であるので、今後トイレ整備について調査研究したいと考えている。

○その他の質問項目

◆高齢者施設について

◆道路工事の交通整理について



小滝 芳江
(クラブ21)

マイナポータル

質問

マイナポータルのサービス利用は国民の権利であると考え、導入に係る経費と導入することの考えは。

答弁

導入費用については、国からの助成はないが、群馬県では、子育てワンストップサービスに接続できるぐんま電子申請等受付システムの共同運営がある。参加した場合に当市が群馬県



桐生市役所

質問

ワンストップサービスを導入すべきと考えるが当局の見解は。

答弁

ワンストップサービスについては、死亡時だけではなく、転入・転出・転居など複数の申請手続が必要な場合でもワンストップででき、市民サービスの向上に繋がるものと考えている。導入している先進自治体への視察や総務省が実施する地方自治体窓口業務改革セミナー、群馬県が主宰する行政改革研究部会の窓口業務改革の推進部会に参加するなどの研究はしており、最終的にはワンストップの総合窓口を目指しているが、導入には至っていない。



佐藤 幸雄
(創志会)

桐生武井西工業 団地

質問

どの様な点が企業から評価を受け、企業立地に至ったのか。

答弁

周辺の工業団地と比較して、安価な分譲価格を実現するとともに、新たに創設した用地取得助成金をはじめとする豊富な優遇制度を用意した。また、伊勢崎インターチェンジから車で約15分に位置するなど、交通アクセス面に優れ、

地下5mから10m付近に支持層があり、地盤が強固であることなども製品の精度の影響を重視する製造業を中心に高い評価をいただいているものと考ええる。

鳥獣被害防止柵

質問

電気柵の設置に対する補助金交付の実施状況と効果は。

答弁

平成29年度は、相生町2丁目地区の1組合と黒保根町下田沢地区の1組合において周囲延長624m、事業費31万5992円で、15万7000円の補助金を交付した。平成30年度は、

新里町鶴ヶ谷地区の1組合において、周囲延長1200m、事業費41万9796円で、20万9000円の補助金の交付が確定している。



電気柵

事業実施の効果については、農家から事業を集団で実施することにより設置経費の節減等が図られ、また、農作物被害が減少しているとの声をいただいている。



関口 直久
(日本共産党議員団)

小倉川の整備

質問

川内町2丁目の小倉川に架かる佃橋付近における河川の浚渫について、今後の計画と実施時期は。

答弁

佃橋付近の河川の浚渫については、河川管理者である群馬県桐生土木事務所から、平成31年度の非出水期である11月から翌年の5月の間に、河床に溜まった土砂を撤去する浚渫工事を



佃橋

実施する予定だと伺っている。

護岸の整備計画

質問

佃橋下流域の護岸整備の計画について、実施はいつ頃になるのか。

答弁

護岸整備工事に ついて、群馬県桐生土木事務所に確認したところ、現在、小倉川下流部の河川断面狭小部である、鷹ノ巣団地付近、鍛冶屋橋周辺の河川改修工事を実施しているとのことであり、この区間の完成には、あと2、3年かかるため、上流部の佃橋周辺の護岸整備については、現在施工中の区間が完成後、引き続き工事の実施ができるよう、今後は予算確保の要望等をしていく、と伺っている。

○その他の質問項目

- ◆主要地方道前橋大間々桐生線
- ◆桐生市行政改革方針(案)
- ◆国民健康保険税
- ◆介護保険事業



久保田 裕一
(そうぞう未来)

桐生市行政改革 方針(案)

質問

窓口業務を民間委託する場合の効果。また、当市における委託実施の可能性及びスケジュールは。

答弁

職員14人の窓口業務を民間委託した場合、単年度効果額として、3024万円を見込んでいる。当市での導入の可能性については、実施計画で平成33年度を目標としているので、先進自治体の導入状況や総務省の参考事例集を参考にしていきたい。

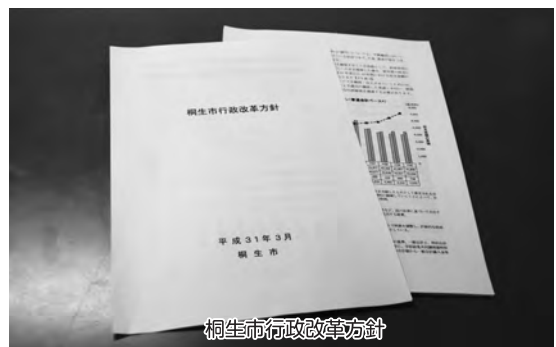
また、平成31年度から関係各課と協議をし、これからのスケジュールやロードマップを作り、実行性のある取り組みを行っていききたいと考えている。

質問

広告収入の現状。また、新たに導入を目指す広告の種類及び期待される効果額は。

答弁

これまでの、公用車の車体広告、公用封筒、広報きりゅう、ごみカレンダーへの掲載、テレビモニター、ホームページのバナー広告等があり、収入実績は、平成29年度決算額で876万円となる。また、新たな取り組みとしては、桐生球場、桐生市民体育館、桐生市市民文化会館、桐生が岡遊園地のネーミングライツで合計850万円、イベントスポンサー広告で50万円、カウンタースペース、レターラックなどの施設内での広告活用で200万円の合計1100万円の効果額を見込んでいる。



桐生市行政改革方針



工 藤 英 人
(創志会)

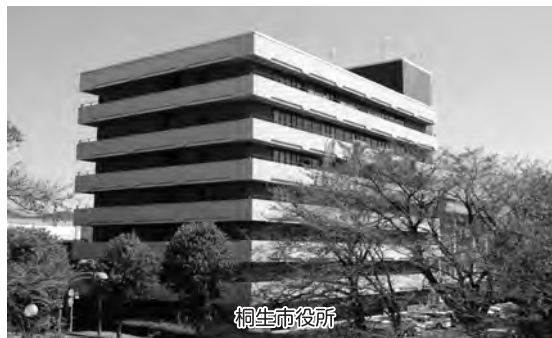
桐生市庁舎整備 基本方針(案)

質問

桐生市庁舎整備基本方針(案)の概要及び基本コンセプトはどのようなものか。

答弁

概要については、本館及び議事堂は53年、新館は36年が建設から経過しており耐震診断結果では、震度6強以上の大規模地震が発生した場合、「倒壊又は崩壊の危険性が高い」とされ、防災拠点としての機能が



桐生市役所

果たせない状況にある。さらに現庁舎は設備等の老朽化のため補修を繰り返ししながら使用しており、情報通信機器の更新や増設などへの対応が難しいなどの課題も抱えている。これらの課題を抜本的に解決するために庁舎の建て替えが必要としたものである。基本コンセプトは、「防災拠点としての庁舎」「ユニバーサルデザインを取り入れた庁舎」「環境にやさしい庁舎」「機能性と経済性を備えた庁舎」「駐車場及び駐輪場の確保」を掲げている。

質問

庁舎建設に合併特例債を活用する理由については。

答弁

合併特例債は建設事業費の充当率が95%、後年度の地方交付税措置率が70%であり、他の地方債に比べ、条件が有利となっている。また、新市建設計画の計画期間延長について議会の議決を得られた場合には、平成37年度まで発行が可能となることから活用することを検討している。



周 東 照 二
(公明クラブ)

八木節会館の設置

質問

市内観光の桐生八木節の観光については、八木節会館の設置が最も有効な方法と考えるが当局の見解は。

答弁

八木節の公開施設については、各町会が保有する祇園屋台や鉾の保存はもとより、歴史的資料の公開や物産販売、八木節の上演などを行うことで、新たな観光資源となることから有益な事業であると考えている。八木節会館の設置については、平成30年1月に国の認定を受けた桐生市歴史の風致維持向上計画に基づき、鉾、屋台の伝承・活用のための公開施設の



桐生八木節まつり

八木節の観光については、八木節会館の設置が最も有効な方法と考えるが当局の見解は。

桐生八木節まつり 期間以外の対応

質問

八木節チームの練習予定日、連絡先などを市のホームページに公開し、希望者が八木節を観たり体験したりできるようにしてはどうかと考えるが当局の見解は。

答弁

桐生八木節連絡協議会がホームページを開設しており、問い合わせがあった場合は紹介をしている。市ホームページにおける対応については、桐生八木節連絡協議会と調整を図り、市ホームページにおいて桐生八木節連絡協議会のホームページを紹介するなど、円滑に情報が発信できるように検討したい。



辻 正 男
(そうぞう未来)

体育館清掃用モップの管理状況

質問

体育館清掃用モップは、誰がどのように管理しているのか。また、経費については予算付けをしているのか。

答弁

通常、体育館の管理担当者は体育主任の先生が務めることが多いが、最終的には学校長が管理責任者ということになる。

質問

清掃活動とは、身の回りの環境を清潔に保つための活動であり、汚れたモップで床を拭くことが清掃活動に値するのか。清掃活動の意味や意義を学んでいないと考えるが見解は。

答弁

きれいな清掃道具で体育館を清掃することの重要性については認識しており、定期的なクリーニングについて、研究させていたきたい。

質問

体育館の使用の方法や利用者数等によって違い



体育館清掃用モップ